

第8回 函館市自治基本条例策定検討委員会要旨

日 時 平成19年12月11日(火) 18:30~20:30
場 所 フィットネスホテル 330 函館

1 開 会

2 ワークショップについて

(横山委員長)

今日は年内最後の会議となる。前回ワークショップについて様々協議し、その協議内容をまとめなおしたので、その確認をしたい。事務局から資料の説明をお願いする。

(事務局)

資料説明(ワークショップの概要について、フォーラムの開催について)

(横山委員長)

前回の確認資料について質問意見があれば発言願う。よろしいか。フォーラムは3月の日曜日の午後に開催する予定だが、先ほど事務局と打ち合わせをし、最終決定はしていないが、3月前半は市議会があることと、私が海外に行く可能性があるので、2日、9日は難しい。16日も難しいので、23日か30日で調整したいと考えている。会場も確保しなければならない。第1候補は23日で第2候補が30日にしたい。それからパネラーを2名ほど委員会から出したいと考えている。このことについては、2月19日に検討委員会があるので、その時に2名を選びたいと思う。事前にパネラーになりたいという方がいれば、事務局にお知らせいただければと思う。よろしいか。次にいくつか決めておきたいことがある。1月、2月はワークショップを開催し、それまで検討委員会が開催されないで、そのことについて事務局から説明願う。

(事務局)

ワークショップStep1の日程は決まったが、できるだけ検討委員の方も参加し、テーブルリーダーをしていただきたい。可能であればおおよそ出席できる日程を確認したい。検討委員は委員長のほか12名いるので1人2回程度出席していただきたい。テーブルリーダーについては、こちらでマニュアルを作成したい。また、委員の所属団体にも参加をお願いしたい。次にStep2について、まだテーマが決まっていないので、庁内のプロジェクトチームからも案が出ており、資料にあるとおり自治基本条例は理念と制度で成り立っており、それを市民に考えてもらうということで、テーマとして「函館をどんな街にしたいですか?」とした。理想的な函館像とは、ということで理念を導く。それとその理想に近づくためのルールとは、ということで制度を導くような設定をしてはどうかということ考えている。この点について協議願いたい。次に開催の協力依頼ということで、それぞれの団体の会合等の開催時に時間をいただき、出前型のワークショップを行いたい。各団体で協力いただけるようであれば事務局に連絡をいただきたいと考えている。「市政はこだて」にも団体の開催募集をしたいと考えている。

(横山委員長)

ワークショップStep2は、旧4町村でも行う。回数等は調整したい。それではStep2の団体への開催依頼について何かあれば意見をいただきたい。よろしいか。この団体以外にも友人、知人

等にも参加をお願いしたい。次に、Step 2のテーマだが、「函館をどんな街にしたいか？」ということでもよろしいかどうか。身近に入りやすいテーマで実施したいと考えるが、私は、ワークショップのStep 1の1回目で「もっと住み良いまちにするためには？」となっているのでそれでもいいと思ったが、意見を聞きたい。

(敦賀委員)

「函館をどんな街にしたいですか？」で結構だが、3町1村の方は自分達の身近なことに興味を持っている。自分達の地域が合併後どうなるかということに興味を持っているので、地域のこと、身近な問題になると思う。このテーマだとちょっと遠ざかるような気がする。

(横山委員長)

Step 1の「もっと住み良いまちにするためには？」はどうか。

(敦賀委員)

その方が近いと思う。これについては、私から2、3日前に、このような会合を開くことを話し合っ、場所も各支所で調整するという話をした。1箇所の開催では、時期的に雪もあり距離的に難しいと思う。

(横山委員長)

回数、場所は後ほど調整したい。テーマについては、「函館をどんな街にしたいですか？」はちょっと堅いということなので、変えた方が良いということだが、他の方はどうか。Step 1の1回目のテーマ「もっと住み良いまちにするためには？」と同じで良いか。

(事務局)

事務局では、合併して一つのまちになったことから、函館という言葉を使い「函館をどんな街にしたいですか？」とした。

(横山委員長)

函館という言葉を使わなくても、市民にはもっと住み良いまちにしたいという気持ちがあると思う。

(板本委員)

まちの定義は、函館という意味もあるし、地域という意味もあり、使いやすいと思う。

(事務局)

旧合併4町村では、1回から2回ワークショップを行うが、その他は、旧合併4町村以外の市内の団体をお願いすることにもなる。場合によっては、テーマを分けて行うことも考えられる。「もっと住み良いまちにするためには？」ということで、旧4町村にお願いし、それ以外の団体には「函館をどんな街にしたいですか？」として実施することも考えられる。

(横山委員長)

検討委員会として、意見を聞く側とすれば、共通のテーマで実施した方が参考になりやすいと思う。「もっと住み良いまちにするためには？」ということでもよろしいか。

(異議無し)

それでは、そのようにする。次に、ワークショップStep 1について、各委員の日程がはっきりしていないと思うが、最低2回ぐらいは参加して欲しいと思う。現在の予定をお知らせ願いたい。

1回目 佐々木委員、丸藤委員、若杉委員

2回目 板本委員、市居委員、川田委員、佐々木委員

3回目 川田委員、佐々木委員、敦賀委員、長尾委員、藤沢委員

4回目 佐々木委員、丸藤委員、若杉委員

5回目 板本委員，市居委員，佐々木委員，敦賀委員，長尾委員，藤沢委員
(横山委員長)

開催前には，改めて事務局から事前に連絡をする。テーブルリーダーについては，本日，決められないが，これについても，改めて事務局から願います。テーブルリーダーは検討委員だけでなく，庁内プロジェクトチームにも願いたいと思う。第1回から5回目まで最低でも3人は出ているので，プロジェクトチームも今日10人全員出席しており，大変だと思うがよろしく願います。本日決定することは，以上である。

(佐々木委員)

各委員の所属団体にも願いますということだが，何名くらい取りまとめると良いか。

(事務局)

公募もするので，その状況を見ながら個別に相談させていただく。

(横山委員長)

その他事務局から何もなければ，これで終了するが，この後，前文に関わるようなテーマで，ワークショップを開催したいと思う。丸藤委員の進行で願いたいと思う。

(ワークショップの開催)

3 閉 会